科目名	臨床病態生理学演習	分野・必選別・単位数	専門科目(臨床検査医学)	選択	2単位

担当教員	◎教授　望月　眞					科目ナンバー	T4C106
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習

授業の概要	提示された症例に関して重要事項を整理してプレゼンテーションを行ない、教員と質疑応答を行ないながら新たに知識を整理していく。
授業の到達目標	①症例を病理学的に分類して説明できる。 ②症例の生化学的、生理学的所見を病理形態学と関連して述べることができる。 ③専門とする検査を症例に当てはめて、方法や所見の取り方の改善を考察できる。 ④修士の名にふさわしく、独立で学習方針を立てられる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	望月　眞　教　授	症例の各種検査データを分析して疾患を説明できる。(循環器)
2	望月　眞　教　授	症例の各種検査データを分析して疾患を説明できる。(呼吸器)
3	望月　眞　教　授	症例の各種検査データを分析して疾患を説明できる。(消化器)
4	望月　眞　教　授	症例の各種検査データを分析して疾患を説明できる。(泌尿器)
5	望月　眞　教　授	症例の各種検査データを分析して疾患を説明できる。(神経・内分泌)
6	望月　眞　教　授	専門とする検査を他の検査と関連づけて診断や予後を説明できる。(循環器)
7	望月　眞　教　授	専門とする検査を他の検査と関連づけて診断や予後を説明できる。(呼吸器)
8	望月　眞　教　授	専門とする検査を他の検査と関連づけて診断や予後を説明できる。(消化器)
9	望月　眞　教　授	専門とする検査を他の検査と関連づけて診断や予後を説明できる。(泌尿器)
10	望月　眞　教　授	専門とする検査を他の検査と関連づけて診断や予後を説明できる。(神経・内分泌)
11	望月　眞　教　授	診断困難な症例に総合的に考察を加えて説明できる。(循環器)
12	望月　眞　教　授	診断困難な症例に総合的に考察を加えて説明できる。(呼吸器)
13	望月　眞　教　授	診断困難な症例に総合的に考察を加えて説明できる。(消化器)
14	望月　眞　教　授	診断困難な症例に総合的に考察を加えて説明できる。(泌尿器)
15	望月　眞　教　授	診断困難な症例に総合的に考察を加えて説明できる。(神経・内分泌)

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	医学雑誌に掲載されている症例報告を選んで読破しておく。また専門とする検査の方法の改善や所見の変更など、最新の論文を検索して要点をまとめておく。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	必要な時は随時指示する。
参考書	必要な時は随時指示する。
成績評価の方法および基準	症例検討の口頭でのプレゼンテーション50%、レポート50%
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。